

幌 延 町  
第 7 次 社会教育中期計画書  
(令和 2 年度～令和 7 年度)



シマエナガとネコヤナギ

撮影：富士元 寿彦 氏

【スローガン】

共に学び・共に育み・共に創る

郷土に根ざすひとづくり

幌 延 町 教 育 委 員 会



## はじめに

### 幌延町教育委員会 教育長 木 澤 瑞 浩

幌延町教育委員会では、平成25年度に「幌延町第6次社会教育中期計画 ～学び愛・繋り愛・創り愛 豊かに生きる人づくり～」を策定し、平成26年度から各種社会教育事業に取り組んでまいりました。令和元年度末をもってこの計画が満了となることから、新しい社会教育計画の策定に向けて、「幌延町第7次社会教育中期計画策定委員会」へ諮問を行いました。

その後、幌延町第7次社会教育中期計画策定委員会から、社会教育は「まちづくりは人づくり」であることを再考し、前計画に沿って取り組んできた各種施策や事業の点検評価の中、幌延町の社会教育を取り巻く現状や課題から、今後取り組むべき施策や方向性を盛り込んだ答申をいただきました。

教育委員会ではこの答申を受け、「幌延町民憲章」、「幌延町教育目標」を基本とし、「幌延町総合計画」で示されている「心豊かな人と文化を育むまちづくり」を目指し、これら関連計画と整合性を図りながら、今後6年間を通じて目指すべき基本方針や施策を示した「幌延町第7次社会教育中期計画」（令和2年度～7年度）を策定いたしました。

町ではこの計画に基づき、系統のかつ継続的に各種社会教育の施策や事業を展開し、本計画の具体化に取り組んでまいりたいと考えております。

結びに本計画の策定にあたり、御助言をいただきました北海道教育庁宗谷教育局社会教育指導班主査 佐々木憲一様、熱心に御審議をいただきました策定委員の11名の皆様に心から感謝を申し上げますとともに、今後も社会教育のために一層のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

## 計画策定にあたって

### 幌延町第7次社会教育中期計画策定委員会 委員長 竹 岡 政 仁

第7次社会教育中期計画の策定にあたり、まず初めに、北海道教育庁宗谷教育局より講師を招き、策定の目的や意義について講義を受けた後、グループワークにより策定に向けた方向性などの確認や学習会を行い、策定作業に取り掛かりました。

策定作業は、第6次社会教育中期計画の反省・評価をもとに、総合計画や社会教育事業との整合性を図りながら、この計画が、目的達成のための課題を解決するための行動の手引きであることを確認しました。そして、計画の目指す姿とその方向性の共通理解を図り策定委員11名（社会教育委員8名、スポーツ推進委員3名）で、4回の会議を開催し審議して参りました。会議では、事業視察を通して委員が感じたことなど、意見交換を行い、第6次社会教育中期計画で達成できなかった項目について課題を整理して、第7次社会教育中期計画で、再度、達成に向け取り組むこととしました。また、指標について、基本的には第6次社会教育中期計画に合わせつつ、新規に取り組んでいる事業などを追記するとともに、人口減少なども考慮した指標としております。なお、時代の変化などに則した指標となるように、3年後に見直すこととしました。

この第7次社会教育中期計画が、社会教育行政の指針として今後の行政施策の推進に反映されることを念願するものであります。

終わりに、本計画策定にあたり、熱意をもって討議くださいました委員の皆さん、並びに計画づくり全般にわたりご指導いただきました北海道教育庁宗谷教育局に衷心より感謝申し上げます。

# 幌延町第7次社会教育中期計画 目 次

はじめに

幌延町教育委員会教育長 木 澤 瑞 浩

計画策定にあたって

幌延町第7次社会教育中期計画策定委員会委員長 竹 岡 政 仁

1 第7次社会教育中期計画策定について	・・・	1
(1) 計画策定の意義		
(2) 計画策定の基本的な考え方		
(3) 計画の呼称、計画の期間		
(4) 計画の点検・評価		
2 幌延町社会教育の基本方針と社会教育目標、政策策定について	・・・	2
3 策定委員による社会教育・社会体育事業視察、意見交換	・・・	5
4 第6次社会教育中期計画の現状と成果及び課題	・・・	7
5 第7次社会教育中期計画のスローガンと基本政策	・・・	10
6 第7次社会教育中期計画の施策と方向性（体系図）	・・・	11
7 第7次社会教育中期計画基本政策の目的	・・・	12
8 第7次社会教育中期計画のめざす基本施策の評価指標	・・・	15

## 資 料 編

・ 答 申	・・・	20
・ 諮問文	・・・	21
・ 幌延町第7次社会教育中期計画策定委員会策定結果	・・・	22
・ 幌延町第7次社会教育中期計画策定委員会設置要綱	・・・	23
・ 幌延町第7次社会教育中期計画策定委員名簿	・・・	24
・ 幌延町教育大綱	・・・	25
・ 幌延町民憲章	・・・	26
・ 幌延町教育目標	・・・	27
・ 幌延町社会教育関係施設	・・・	28
・ 幌延町第7次社会教育中期計画めざす姿 町民配布用	・・・	29

# 1 第7次社会教育中期計画策定について

## (1) 計画策定の意義

幌延町の社会教育は、幌延町総合計画、幌延町教育目標に基づき、幌延町第6次社会教育中期計画（平成26年度から平成31年度）を推進してきたところであります。

町民一人一人が生涯にわたり、心豊かに生きがいのある人生を送ることは皆、共通の願いです。学習やスポーツを通して技術や知識の習得を図り人間性を高めたり、また、団体活動で交流し活動する仲間づくり等行ったりと、さまざまな方法や場所で社会教育活動が行われています。

今、町民ニーズの広がりや学習意欲、地域活動への参加意識の高まりの中で、かつ内容が多様化してきており、各種情報や機会の提供など、その環境づくりが強く求められています。生涯にわたって、学びの成果を地域に還元していく社会、また、住民と共に歩み続ける地域社会の実現に向けて、方法・内容・機会・地域・人材・団体・施設等を意識した取り組みが一層大切となっております。

このことから、従来の計画を見直し、現状と課題を分析し、町民一人一人が「いつでも、どこでも、だれでも」学習活動に参加できる機会の充実を図り、人づくり、まちづくりの実現を目指し、生涯学習の基盤の確立のため本計画を策定するものである。

## (2) 計画策定の基本的な考え方

これまでの第6次中期計画の成果や課題を踏まえ、日々変化を続ける社会を背景に幌延町における社会教育の役割を検討し、5つの基本政策を設定しております。

策定委員には、日頃、社会教育事業で感じていることや一定期間内の事業視察を行い、会議内でそれぞれ感じたことについて意見交換を行っていただきました。

策定作業では、第一に第6次中期計画の現状を把握し、成果と課題をもととし、引き続き、第6次中期計画の継続をもとに6年後のめざす幌延町を基本的な柱としております。第二にその政策実現に必要なことを話し合い、目指す基本施策、その方向性を示す事務事業をまとめ、それぞれの施策の評価指標を確認しました。

## (3) 計画の呼称、計画の期間

この計画は「幌延町第7次社会教育中期計画」と称し、計画期間は、令和2年度から令和7年度までの6年間とする。

なお、計画期間中については、社会情勢の変化等を考慮し、3年後には評価指標を見直すこととしています。

## (4) 計画の点検・評価

この計画の推進にあたっては、単年度計画「社会教育推進計画」を策定し、政策や目指す基本施策に対する具体的な事業の反省や改善を図り、実施していくこととします。また、本計画で示した評価指標に基づき、毎年度数値化し評価を行うとともに、社会教育委員による判定及び施策毎に総合判定を行うものとする。

## 2 幌延町社会教育の基本方針と社会教育目標、政策策定について

### 幌延町社会教育の基本方針

幌延町の教育目標を基軸に、今日の社会の激しい変化に対応するために生涯教育の観点に立って、豊かな社会性の育成と創造性の啓発をめざして地域に根ざした社会教育を推進する。

### 幌延町社会教育目標

- 1 学習や社会参加への意欲を高め、自ら啓発に努める社会教育活動を
- 2 ふれあいを深め、豊かな心を育む文化活動を
- 3 健康で活力のある生活をめざすスポーツ活動を

### 政策策定について

#### 第1回策定委員会議

第1回目の策定委員会議では、第7次中期計画策定について、幌延町教育委員会からの諮問を受け、策定にかかわる審議に取りかかることといたしました。

策定までの概要(プラン)を事務局側より説明を行い、その後研修を行っております。研修では、初めて策定委員として活動する方が多く、計画策定について、北海道教育庁宗谷教育局より専門の講師を招き、講義と実技を実施しております。



講義では、策定の目的や社会教育と生涯学習の違い、また、社会教育の振興と生涯学習の振興の違い等を確認し、計画策定の意義と留意点についてお話ししていただきました。実技では、3班に分かれてグループワークを行い、幌延町の強み、弱み等を話し合い、どのような町になったら良いか協議し、班ごとに発表を行っております。

最後には、今後の計画策定の方法等について、委員で共通認識・理解を図りました。

講義「社会教育中期計画策定の目的について」

実技「6年後の幌延町について」

講師：北海道教育庁宗谷教育局教育支援課

社会教育指導班主査 佐々木 憲 一 氏

## 【1班】



## 【2班】



## 【3班】



### 社会教育と生涯学習の違い

#### 社会教育

社会的課題を解決するために目的をもって行われる教育活動

#### 社会教育の振興

まちづくりに参画する人づくり

#### 生涯学習

個人で生涯にわたって自主的に取り組む学習活動

#### 生涯学習の振興

学習環境づくり

### 策定委員による事業視察

8月2日から10月31日までの期間、委員による社会教育事業、社会体育事業の視察を実施しました。全事業の視察を行うことはできませんでしたが、13事業の視察を行っております。また、事業によっては、複数の委員が視察を行っており、同じ事業でも違う観点から視察ができたと感じています。

視察した結果については、「3 策定委員による社会教育・社会体育事業視察、意見交換」を参照。

### 第2回策定委員会議

第2回目の策定委員会議では、第6次中期計画の評価や現状把握について再度確認を行うとともに、過去5年分の全68事業(H26～H30)の整理を行っています。(指標評価のもととなっている資料)また、施設の利用状況等についても同様にまとめ、委員の意見を聴いています。また、第6次中期計画での成果や課題について、政策毎に整理するとともに政策内で達成できなかった指標の項目について、要因等を提示して洗い出しを行っております。



視察した事業については、出席した委員で意見交換を実施しており、現状における事業の課題や方向性等を確認することができました。最終の整理したものは次回の会議で提示することとしました。

最後は、第7次中期計画のイメージについて話し合いを行い、次回の会議では、体系図や指標の確認を行い、スローガン(目標)について、検討することとしました。

#### 委員からの意見

- ・ 体系図については、大きな変更をしなくても問題はない。
- ・ 第6次中期計画を基準として、現行にあった指標を作成。
- ・ ページ数についても、同様な形で問題はない。

### 第3回策定委員会議



第3回目の会議では、総合計画アンケート結果を参照し、社会教育関連部分について説明を行い、指標評価では、アンケート結果をもとにした項目もあることから、実情の確認をしています。

第7次中期計画の体系図については、前回の計画を基本として作成を行い、現状に合わせて若干変更をしており、全体的な確認、審議を行いました。指標については、第6次中期計画からの継続、未達成、第7次中期計画から新規の指標を提示し、審議をしてきました。特に、第6次中期計画で未達成の項目については、前回要因の分析を行い、第7次中期計画では達成できるよう取り組むこととしています。また、人口減少を考慮し、利用人数だけではなく、人口ベースから割合を出す方法に変更しており、人口減少に伴う指標評価の影響を少なく設定しています。

最後には、スローガンの設定について、委員内で協議を行い議論していたが、今回はキーワードを提示し、次回の会議で決定することとしました。

#### 委員からの意見（テーマ関係）

- ・ 第6次中期計画を軸に第7次中期計画を策定するため、大きな変更の必要はない。
- ・ 前半を継続し、後半部分の変更とする。

#### キーワード

「繋がり」「地域のつながり」「恵まれた自然を生かした人づくり」「世代間」「喜び 笑顔あふれる 人づくり」「共生」「共生を含めるのであれば、共に学び、共に繋がり、共に創り」「郷土」

### 第4回策定委員会議

第4回目の会議では、スローガン（目標）について、何点かの案の中から委員で協議を行い、「共に学び・共に育み・共に創る 郷土に根ざすひとづくり」に決定しました。

スローガン決定に伴い、最終稿として、計画書の校正について審議を行っております。加除修正後、最終確認を行い、3月下旬に開催される教育委員会議において答申することとしました。

#### スローガン（案）

- ① 共に学び・共に育み・共に笑い 笑顔あふれる人づくり
- ② 人づくり・繋りづくり・地域づくり 笑顔いっぱいの幌延（まち）
- ③ 学び愛・繋り愛・創り愛 郷土に根ざすひとづくり
- ④ 郷土を学び、地域を愛し、次代を築く！ 笑顔あふれるまちに
- ⑤ つながる（地域・ひと・笑顔の）輪を育てる 地域づくり
- ⑥ 共に学び・共に繋がり・共に創る 高まる地域の絆



### 3 策定委員による社会教育・社会体育事業視察、意見交換

事業名	子ども朝活事業	英会話教室	町民マラソン大会	舞台芸術鑑賞事業	ソフトエアロビクス教室	水泳大会	町民文化祭	水泳教室（低・一）	
開催日等	7/29～8/9 (8日間)	8/26、10/28（幌延） 9/2（間寒別）	9/21	10/4	10/5	9/6	9/28・29（幌延） 10/26・27（間寒別）	7/29～8/5（低） 7/29～8/6（一）	
開催場所	幌延町生涯学習センター 他	幌延町、間寒別生涯学習センター	総合スポーツ公園野球場～上幌延	国際交流施設	総合体育館	幌延町民プール	幌延町、間寒別生涯学習センター	幌延町民プール	
事業の内容 ねらい等	長期休業を利用し、子どもの望ましい生活習慣の定着や学力・体力の向上等を図るとともに、学校・家庭・地域が一体となった取り組みを推進する体制の構築を図る。  開催：8日間 参加者：476名	ネイティブスピーカーとの交流を通して、楽しみながら、日常生活や旅行等で使える簡単な英会話のスキルを習得するための機会を提供する。  参加者 8月 8名 9月 5名 10月 9名	町民皆スポーツの一環とし、マラソンを通してスポーツの動機づけや浸透を深めるとともに、学校教育、社会教育、地域教育、家庭教育の連帯感を深め、より活性的な町づくりの一環として行い、自らの健康維持増進を図る。  参加者：183名	舞台芸術を鑑賞する機会が少ない地域性の中で、生の舞台芸術の鑑賞機会を提供することで、舞台芸術の素晴らしさ、感動や生きる力を養い、地域文化の振興を図る。  来場者：104名	有酸素運動をすることにより、健康の維持増進を図り健康的な体力づくりを推進する。また、運動後のクーリングダウンとして活用できるよう普及拡大を図る。  参加者：28名	町民皆水泳の一環として小学校から競泳を実施し、2校の小学校にて同時開催することでスポーツ交流の場や授業の成果を発表する場として、より一層活用することができ、また、今後の水泳スポーツに対する認識及び普及拡大に努めるとともに健康の維持増進を図る。  参加者：112名	地域の文化サークルの活動の様子や成果を、広く町民に発表する機会を通して、地域の交流を深めるとともに地域の芸術・文化活動の振興を図る。  来場者 279名（幌） 210名（間）  参加者：112名	水泳に対する正しい知識と初歩的技術を学び、泳ぐことの楽しさや充実感を味わわせるとともに、今後も継続して水泳の振興・普及拡大を図る。  水に対する抵抗感や先入観をなくすとともに、自らの健康維持増進及び町民皆水泳の普及拡大を図る。  参加者 261名（低）、75名（一）	
事業周知方法	社教だより ホームページ掲載 チラシ配布（学校）	告知端末 ポスター掲示 ホームページ掲載 登録者へ文書配布	告知端末 ホームページ掲載 ポスター掲示 体育館だより 少年団本部加盟団体・幌中へ依頼文書送付	告知端末、ポスター掲示 ホームページ掲載 各町内会回覧 文化協会加盟サークルにチケット周知、近隣市町村教育委員会へポスター及びチラシを送付	町内会担当者へ周知 ホームページ掲載 告知端末	各学校と打合せ ホームページ掲載	告知端末	告知端末 ホームページ掲載 対象学年チラシ配布 体育館だより ポスター掲示	
参加者の様子等	事務局側	期間中様々な活動を行っており、長期休業中の生活習慣の定着につながっている。子供たちは、楽しそうに参加していた。	大人対象の初心者向け英会話教室として、各回のテーマに基づく日常会話で活用できるような内容を扱っている。参加者は、英語を身近に感じられるものとなっている。	学校と共催して事業を実施。幼児から大人の方まで参加している。親子での参加が多くなり、一緒に参加する傾向となっている。	例年、様々なジャンルを実施。今年は、初めての試みであったが、来場した方は、大いに満喫していたものと感じている。	毎年プログラムを変更して実施。今年は、有酸素運動として、通常のエアロビクスとクールダウン及び体幹トレーニングを実施。中学校も部活動の一環として参加。	午前（小1・小2）、午後（小3～小6）で実施。各学校共催で事業を実施。	町の方々の作品を展示し、体験会やそば打ちのデモンストレーション及び試食会を実施。数年舞台発表がないことが、若干さみしく感じた。	参加した子供たちは、目標達成に向け、取り組みをしている。幌延町の子供たちは平均して泳げる子どもが多い。
	委員視察	・キッズダンスは動き方がわからず、戸惑っている児童もいたが、雰囲気も良く楽しんで行っていた。 ・学習支援では何も持っていない子どももいた。 ・日頃英語の学習をしている先生たちなので、子どもたちがリラックスして楽しく学んでいるようでした。	・宮古先生、カズ先生の掛け合いがすごく良いと感じたが、知人や関係者が多く、もう少し一般の方が参加すると良いと感じた。	・少しでも良い記録を出せるよう頑張っている姿が良かった。 ・小、中学生とも先生方や周りの観客の声援のもと、一生懸命走る姿が見られ、声援が走者を後押ししているように感じた。 ・苦手な子どもでも歩く児童もいたので、走りぬく、走り切る、最後まで全力を尽くす等の指導や支援が必要と思った。 ・個人的に大会に参加したが、指導員の方から声掛けがあっても良いと感じた。 ・子どもたちが最後まであきらめずにゴールを目指して頑張っていた。 ・親子の部では、父母ともに子どもに声をかけながら走っているのが印象的だった。	・中学生がたくさん参加し盛り上がりがあった。 ・講師の動きに合わせて体を動かし良い汗を流していたように思います。 ・充実した汗を流して、身体も脳もリフレッシュして、とても充実した時間を過ごせていた。	・自分の目標を達成しようとする姿がとても良かった。 ・水泳が得意な子どもは意欲をもってやっているが、得意な子どもは、モチベーションが低いと感じた。 ・技術的な基本ができていない子どもや息継ぎができない子どもも多く、その辺の指導をもう少しやったほうが良いと感じた。	・内容については大きな変化はないが、毎年やっている内容を楽しみに来ている方が多い。 ・体験コーナーもあまり参加しているようには見えなかった。 ・そばとお茶の試食は、そこそこ人が来ており盛り況だったと思うが全体的に盛り上がり方が欠けていた。	・教室の実施に伴い、新学期スムーズに授業に入ることが可能。	
その他	・柔剣道室の活用は良いと思う。アリーナでは感じられない躍動感みたいなものが味わえたと感じる。 ・英語等の内容を実施し、新しい学習指導要領の対応をいただき、学校としては助かる。		・体力づくりの観点から継続してほしい。 ・スタートが2回に分けられていたことに違和感を感じた。 ・体力づくりには非常に良いので、人数が多いのであれば、対策が必要と考える。 ・一般参加者が減少しているように感じる。 ・小さな子どもが走路に入り、危険なので、親がちゃんとみているようにしてほしい。 ・苦手な子どもをいかに興味を持たせるか。	・チケットを購入するのであれば、「来年も行きたい」「来年もあつたら良いな」と思えるものだと来場者がもう少しあったと感じる。 ・対象を絞ることや町民が求めている舞台芸術についてリサーチもあると、本事業の目的をもっと活かせるような気がする。	・町民多数の参加を希望します。 ・単発で終了するのではなく、健康づくりの一環として、朝活や中学校のダンスの授業に合わせた実施など体力づくりの一環として行うことであれば、開催した事業がその前後で生きるのではないかと感じた。	・見学者のマナーが悪いように感じる。 ・体力づくりの観点から継続してほしいと考える。	・文化協会には内容についてもいろいろと提案しているが、実行してくれない。		

事業名	子どもの広場	おひさま子育て会	車椅子ソフトボール合宿・体験会	七夕パレード	町内会対抗ミニバレーボール大会	
開催日等	8/28, 9/4, 9, 18, 25	8/26, 9/5, 12, 19, 26	8/24・25	8/7	10/6	
開催場所	幌延小学校	間寒別生生涯学習センター	総合体育館	町内	総合体育館	
事業の内容 ねらい等	子どもが安全に安心して遊ぶことができる場所として町内の社会教育施設や学校施設などを利用し、放課後に学年の違う子どもたちが集まり、地域の大人たちと交流しあひながら、様々な体験ができる場を提供することを目的とする。		障がい者スポーツへの興味・関心を持つことにより、障がい者及び車椅子に対する理解の促進を図るとともにスポーツを通して障がい者と健康者の心のバリアフリー化を図る。	伝承行事の七夕を祝うとともに、子ども会並びに育成会が、一堂に会して町内をパレードし、交通安全を訴える。	気軽にできるミニバレーボールを通して、各町内会の連帯感を高めるとともに、健康の維持増進を図る。	
	登録児童数 30名 スタッフ数 3名	登録児童数 乳児9名、幼児7名 児童9名 スタッフ数 13名	来場者：20名	参加者：285名	参加者：78名	
事業周知方法	社教だより ホームページ掲載 チラシ配布(学校)	対象者文書送付 ホームページ掲載 チラシ配布(学校)	体育協会加盟団体へ依頼文書送付 少年団本部加盟団体へ依頼文書送付 告知端末 ホームページ掲載 ポスター掲示 体育館だより掲載	各子ども会(9町内) 及び関係団体へ文書送付 告知端末	町内会担当者へ周知	
参加者の 様子等	事務局側	自由遊びを基本に実施。参加状況は1年生の割合が多く体育館や校庭で活発に遊んでいる。	保護者の情報交換や子ども達のコミュニケーションの場となり、高齢のスタッフが居ることで、3世代交流の場や読み聞かせの場として機能している。	1日目は合宿、2日目は体験会を実施している。車椅子での操作の難しさを感じているが、普段経験できないことを体験することが可能。	毎年、七夕の日に交通安全の啓蒙活動として行われるパレードと花火大会は、子供たちの楽しみの行事となっている。	町内会でチーム編成を行い、日頃の運動不足解消として実施。中学生以上を対象として行い、大人と一緒に活動をしている。町内会の親睦を図ることが可能。
	委員視察	・楽しく作品作りをする子どもも多いです。途中でやめて遊んでいる子どももいた。作品が上手く作れなくなると、スタッフに対して、言葉使いが悪くなったり、命令口調になる子どももいました。	・毎週楽しみにしている子どもが多いです。おもちゃ等もあるので、友達と家ではできない遊びを楽しんでいる。	・年々参加者が減少している。今後、考えていかなければならない。体協との話し合いが必要。	・みんなで町内を回り、打ち上げ花火するのは、思い出になるのでとても良い。 ・とても楽しんでいました。	・非常に楽しんでいました。町内会の雰囲気は左右されることだと思ふ。
その他	・個人的な作品ではなく、全員で何かを作る形にしたほうが良いかもしれません。協力して作る、役割を与える、サークルの力を借りる等して、コラボができるとう良い。	・おひさま子育て会の活動委員は、ほとんどの方が小さい子どもがいて、行事等の話し合い、準備等大変なことが多々あります。行事の縮小で、おひさまの活動が長く続けられるようスタッフの負担を軽減しています。	・障がい者でもスポーツに対する心構えは素晴らしい。町民全体にアピールすることが大事です。		・町民ミニバレーボールフェスティバルよりも実力重視なので、経験者以外にはきついものがあるのではないかと思います。	

## 事業フォト



朝活プロジェクト(学習サポーター派遣事業活用:学習支援)



町内会対抗ミニバレーボール大会



朝活プロジェクト(動植物写真展)



水泳教室/子ども運動教室



英会話教室



ソフトエアロビクス教室



町民文化祭



車椅子ソフトボール合宿・体験会

## 4 第6次社会教育中期計画の現状と成果及び課題

### 政策1 幌延の今を知るための学びの場づくり

評価	<p>1-1 多様な学習機会の拡充に努める 総合評価は「A」と判定</p> <p>1-2 多様な学習機会を提供する 総合評価は「A」と判定</p>
現状（成果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画的に社会教育事業を実施している。</li> <li>・ 長期休業中の生活習慣の定着を図るため、朝活事業を実施し、夏季は8日間（学習支援、体験活動、スポーツ活動 等を）実施している。また、冬季については、3日間（学習支援（英語学習）、プログラミング教室 等）実施している。H31は学習サポーターの活用を行った。</li> <li>・ 動植物写真展については、金田心象書道美術館のみで実施していたが、H30から幌延町生涯学習センターでも展示し、幅広く実施している。</li> <li>・ 英会話教室として、ALTを活用して年間10教室を実施している。H31からは間寒別地区でも実施をしている。</li> <li>・ 各事業とも開催要項やチラシ及び結果等について、町のホームページに掲載</li> <li>・ 各事業、告知端末機を活用し、事業の周知を行っている。また、社教だより、体育館だよりを毎月発行し、事業等の周知や結果報告及び様々な情報をお知らせしている。</li> <li>・ 各スポーツ施設の補修を実施している。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各事業の参加者が固定化傾向。</li> <li>・ 町の女性部がH27に解散し、女性教育が減少傾向となっている。</li> <li>・ 書の研修事業について、H30から休止状態となっており、実施できていない。（年間：20回）</li> <li>・ 生きがい教室については、65歳以上の方に登録していただいている。参加者の維持が課題となる。</li> <li>・ 簡易的でわかりやすい告知方法の考究</li> </ul>



子ども運動教室



移動図書（認定こども園）



生きがい教室

## 政策2 地域の営みに参画できる仕組みづくり

評 価	2-1 文化・スポーツ活動を充実する	総合評価は「A」と判定
	2-2 家庭・地域の子育てを支援する	総合評価は「A」と判定
	2-3 住民の参画活動を促進する	総合評価は「A」と判定
現状（成果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「心象館音楽の夕べ」コンサート（1部は町民コンサート、2部はプロの音楽家のコンサート）を実施している。</li> <li>・ 作品展示として、ミニギャラリー展を年数回実施している。</li> <li>・ 子ども運動教室を実施している。（年11回：他事業の併用含む）</li> <li>・ スポーツ少年団本部加盟団体1団体増（H27）</li> <li>・ 生涯学習講座について、幌延だけではなく、問寒別生涯学習センターでも実施している。</li> <li>・ 家庭教育サポート企業制度に新規に2業者登録をいただいた。（現在6社）、（宗谷管内100社以上登録）</li> </ul>	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育協会移行事業の維持は必要不可欠と考える。</li> <li>・ 文化協会、体育協会加盟団体数が減少しているため、維持していくことが必要（団員の高齢化）</li> <li>・ 人材バンク登録・協力（登録者の高齢化もある）が必要と考える。</li> <li>・ 放課後子ども教室（幌延）のボランティアスタッフが不足している。周知しても、集まらないのが現状のため、対策が必要である。</li> </ul>	

## 政策3 子どもたちの自立を促す環境づくり

現 状	3-1 体験・交流活動を推進する	総合評価は「D」と判定
	3-2 学校との連携を促進する	総合評価は「B」と判定
	3-3 ボランティア活動を推進する	現状を把握するのみである
	3-4 リーダ・指導者の研修機会を提供する	総合評価は「C」と判定
評価（成果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ チャレンジ教室体験活動の充実。各団体等の協力を得て、年間9事業を実施している。</li> <li>・ 子ども会育成連絡協議会事業の支援を実施、ワラベンチャー問寒クラブ活動の支援を実施している。</li> <li>・ 社会教育、体育事業、各学校の協力を得て事業を実施している。</li> <li>・ 町内子どもの集いについては、小・中隔年で実施する形としている。一般で観覧することも可能</li> <li>・ 各学校で家庭教育学級を開設し、計画的に事業を実施している。</li> </ul>	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少年団活動と日程が重なり、各事業の登録人数が減少傾向である。</li> <li>・ 放課後子ども教室について、学年毎で登録人数に差があり、活発な学年とそうでない学年に分かれている。</li> <li>・ 放課後子供教室スタッフの方の研修会参加が難しい状況となっている。</li> </ul>	

#### 政策4 次代に向けて挑戦し続ける風土づくり

現 状	4-1 協働による生涯学習を推進する	総合評価は「B」と判定
	4-2 女性の社会参加を促進する	総合評価は「C」と判定
	4-3 コミュニティ活動を活性化させる	現状を把握するのみ
	4-4 スポーツと健康づくりを推進する	総合評価は「C」と判定
評価（成果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども会、文化協会、体育協会と共催して事業実施及び事業継続。</li> <li>家庭教育サポート企業の活動。</li> <li>社会教育関係の委員・指導員の女性登用率は高いと考える。</li> <li>心象館について、カフェスペースとして無料観覧箇所設置やギャラリー一展の実施による施設の利用促進を図っている。</li> <li>学校開放施設の有効活用。</li> <li>新規社会体育事業等の実施に伴い、参加者が増加。現事業とリンクして実施している。</li> <li>継続的なスポーツ・運動教室を実施している。</li> <li>毎年少年団の活動で全道大会に出場し、参加費を支援している。</li> </ul>	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性学級の減少が懸念材料。現在下沼地区のみ実施しているが、対策が必要と考える。</li> <li>各事業の登録人数が減少傾向。休日の過ごし方の多様化や少年団等の活動増加。</li> <li>人口減少に伴い、スポーツ施設利用者が減少傾向である。（夜に集中する傾向）</li> </ul>	

#### 政策5 学習活動の拠点づくり

現 状	5-1 問寒別生涯学習センターを整備する	計画的に実施され、供用開始していることから総合判定の実施無
	5-2 生涯学習センターの利用を促進する	総合評価は「C」と判定
評価（成果）	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画的に実施し、H27年度に完成。H28.4.1より供用開始。</li> <li>放課後子供教室（おひさま子育て会）の施設利用。（H28）</li> <li>子どもの読書活動推進計画書を作成し、利用促進に向け事業を展開</li> </ul>	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の有効活用として、実施することが必要（団体活動、事業実施）</li> <li>新規事業を立ち上げ、利用促進を図っているが、人口減少等も伴い、増加ということは難しいのが現状である。</li> </ul>	



幌延町生涯学習センター



問寒別生涯学習センター

## 5 第7次社会教育中期計画のスローガンと基本政策

### スローガン

共に学び・共に育み・共に創る  
郷土に根ざすひとづくり



町民マラソン大会

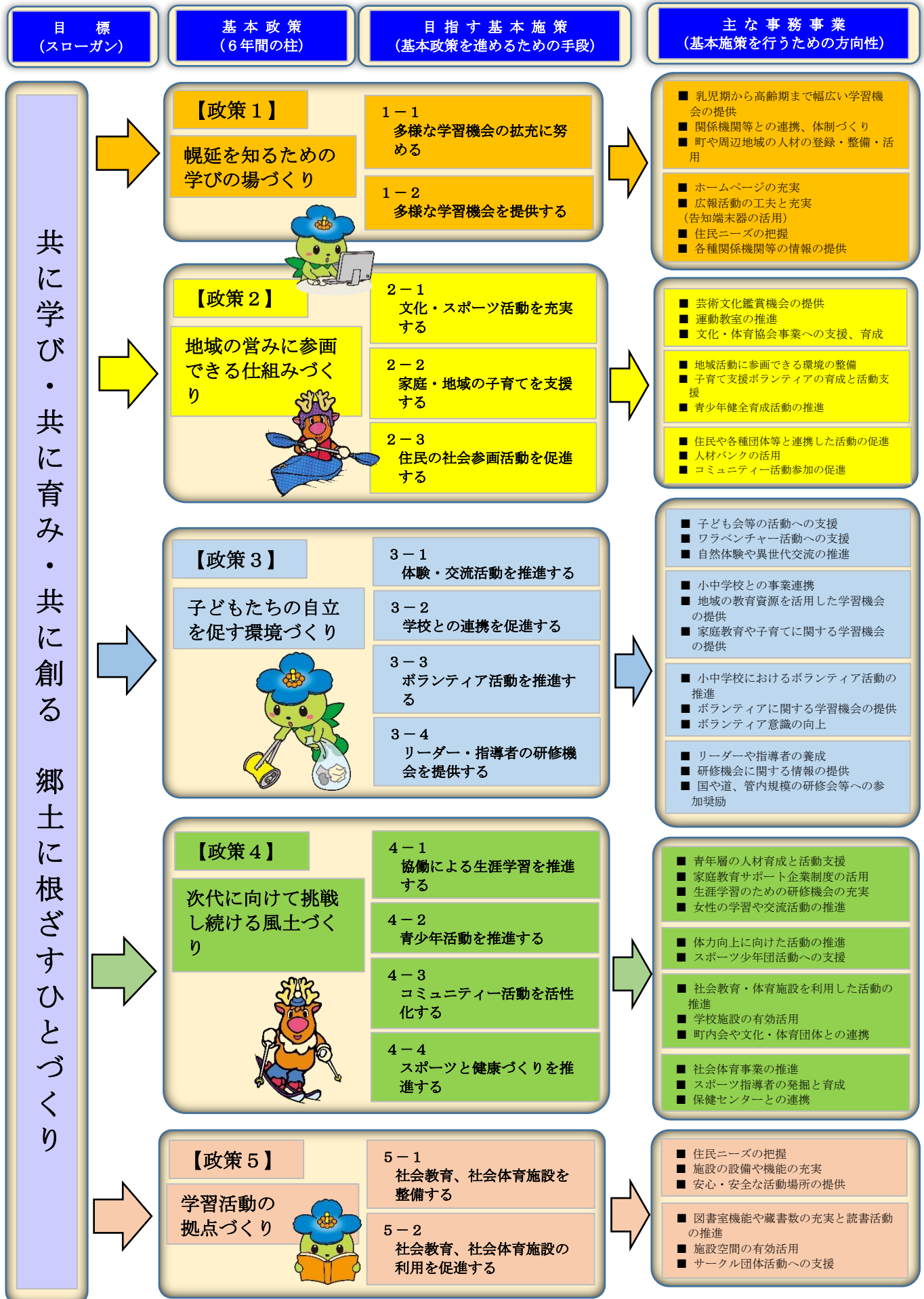


読書活動（読み聞かせ）

### 基本政策（6年計画の柱）

- 1 幌延を知るための学びの場づくり
- 2 地域の営みに参画できる仕組みづくり
- 3 子どもたちの自立を促す環境づくり
- 4 次代に向けて挑戦し続ける風土づくり
- 5 学習活動の拠点づくり

## 6 第7次社会教育中期計画の施策と方向性（体系図）



## 7 第7次社会教育中期計画基本政策の目的

### 政策1 幌延を知るための学びの場づくり

1-1 多様な学習機会の拡充に努める 1-2 多様な学習機会を提供する

**目的** 幼児から高齢者まで多様な学習機会の充実や学習成果を活かす環境づくりを推進する。

#### 実施事務事業

##### 1-1

人材バンク、生きがい教室、生涯学習講座、チャレンジ教室、子ども朝活プロジェクト、動植物写真展、ブックスタート、読み聞かせ、英会話教室、移動図書

##### 1-2

ホームページ更新・充実、告知端末周知、社教だより、体育館だより、図書だより、文化財関係資料管理・整理、文化財専門委員、道立図書支援事業

### 政策2 地域の営みに参画できる仕組みづくり

2-1 スポーツ活動を充実する 2-2 家庭・地域の子育てを支援する  
2-3 住民の社会参画活動を推進する

**目的** 文化スポーツ活動の充実を図るとともに、子育てを支援できる環境づくりを推進する。

#### 実施事務事業

##### 2-1

生涯学習講座、動植物写真展、舞台芸術鑑賞事業、心象館音楽の夕べ、ギャラリー展、親子ふれあい人形劇、町内書初め展、町民文化祭、移行事業、文化団体活動支援、車椅子ソフトボール合宿、水中・ソフトエアロビクス教室、水泳教室（低・一）、スキー教室（低・1、2年）、子ども運動教室、軽体操運動

##### 2-2

放課後子ども教室（活動員ボランティア発掘と人材育成）、家庭教育サポート事業、子育て支援センターと連携、家庭教育学級、読み聞かせ、町PTA研究大会

##### 2-3

人材バンク、チャレンジ教室、家庭教育学級、料理教室、町民スキー大会、町民フットサル大会、問寒別地区町内会対抗ソフトボール大会、問寒別地区町内会対抗ミニバレーボール大会



## 政策3 子どもたちの自立を促す環境づくり

- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| 3-1 体験・交流活動を推進する  | 3-2 学校との連携を促進する        |
| 3-3 ボランティア活動を推進する | 3-4 リーダー・指導者の研修機会を提供する |

目的 子どもたちの体験活動の充実や健全育成を推進する。

### 実施事務事業

#### 3-1

幌延町子ども会育成連絡協議会活動支援、ワラベンチャー間寒クラブ活動支援、チャレンジ教室、子ども朝活プロジェクト

#### 3-2

チャレンジ教室、子ども朝活プロジェクト、放課後子ども教室、学校開放事業、町内子どもの集い、家庭教育学級、英会話教室、町PTA研究大会、町民スキー大会、水泳大会、町民マラソン大会、小学1・2年スキー教室、水泳教室、書初め展、社会教育指導員活動

#### 3-3

子ども会ボランティア活動、学校でのボランティア活動の把握、放課後子ども教室

#### 3-4

放課後子ども教室（スタッフ）、青少年体験活動推進事業、少年の主張、社会教育委員、スポーツ推進委員



朝活プロジェクト（プログラミング教室）



軽体操運動



心象館音楽の夕べ

## 政策4 次代に向けて挑戦し続ける風土づくり

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 4-1 協働による生涯学習を推進する | 4-2 青少年活動を促進する      |
| 4-3 コミュニティ活動を活性化する | 4-4 スポーツと健康づくりを推進する |

**目的** 研修機会の充実を図るとともに、地域と協働した取り組みを推進する。

### 実施事務事業

- 4-1  
家庭教育サポート事業、成人式、女性学級、料理教室、文化協会、体育協会、幌延町子ども会育成連絡協議会
- 4-2  
子ども運動教室、スポーツ少年団本部活動支援、子ども朝活プロジェクト、放課後子ども教室
- 4-3  
舞台芸術鑑賞事業、町民文化祭、学校開放事業、問寒別地区町内会対抗ソフトボール大会、軽体操教室、町内会対抗ミニバレーボール大会、町内会対抗バレーボール大会、問寒別地区町内会対抗ミニバレーボール大会、町民ミニバレーボールフェスティバル
- 4-4  
社会体育事業（大会・教室）、スポーツ少年団本部活動支援、スポーツ指導員

## 政策5 学習活動の拠点づくり

- |                         |
|-------------------------|
| 5-1 社会教育、社会体育施設を整備する    |
| 5-2 社会教育、社会体育施設の利用を促進する |

**目的** 社会教育、社会体育施設の機能充実を図る。

### 実施事務事業

- 5-1  
幌延町・問寒別生涯学習センター、金田心象書道美術館、郷土資料館、総合体育館、総合スポーツ公園、幌延・問寒別町民プール、東ヶ丘スキー場 の利用や整備
- 5-2  
子どもの読書活動推進計画の推進、ミニギャラリー展、書カフェ、心象館音楽の夕べ、軽体操運動、放課後子ども教室（おひさま子育て会）

## 8 第7次社会教育中期計画のめざす基本施策の評価指標

政策1	幌延を知るための学びの場づくり				評価数値		設定理由等		R 2			R 3			R 4			R 5			R 6			R 7			備 考
									数値	判定	総合	数値	判定	総合	数値	判定	総合	数値	判定	総合	数値	判定	総合	数値	判定	総合	
施策1-1 多様な学習機会の拡充に努める	指標1	社会教育実施事業数			測定方法	事業実施回数	評価基準	A 82回以上 B 78~81回 C 74~77回 D 73回以下	現状数値を維持 現状値から5%減 現状値から10%減 現状値から10%以上減																H30実績 青少年教育 32回、女性教育 4回、 家庭教育 11件、高齢者教育 6回、 成人教育 11回、芸術文化教育 18回		
	現状値	82回	目標値	82回	設定理由	現状維持																					
	指標2	移動図書実施回数			測定方法	事業実施回数	評価基準	A 7回以上 B 6回 C 5回 D 4回以下	計画以上実施 子ども読書推進計画値 現状値から1回減 現状値から2回以上減															H30実績：6回実施 幌延（認定こども園） 4回 間寒別（保育所） 2回			
	現状値	6回	目標値	6回	設定理由	子ども読書活動推進計画との整合性																					
	指標3	生きがい教室参加人数			測定方法	事業実施集計	評価基準	A 150人以上 B 130~149人 C 110~129人 D 109人以下	会員数等増を加味 現状数値 会員数減を加味 会員数大幅減を加味																	H26実績：134人 H27実績：121人 H28実績：93人 H29実績：105人 H30実績：131人	
	現状値	131人	目標値	150人	設定理由	第6次中期計画未達成																					
	指標4	英会話教室登録人数から1回の平均参加人数			測定方法	事業実施集計	評価基準	A 8人以上 B 6~7人 C 4~5人 D 3人以下	幌延10人、間寒別3人を加味した数字 現状より1~2人増 現状数値 現状値以下の数値															H30実績 8回実施 75人 登録 16人			
現状値	5人	目標値	8人	設定理由	幌延・間寒別地区を加味した数字																						
施策1-2 多様な学習機会を提供する	指標1	社会教育・社会体育事業等の情報更新回数			測定方法	ホームページ更新回数	評価基準	A 100回以上 B 90~99回 C 80~89回 D 79回以下	現状数値を維持 現状値から90%更新 現状値から80%更新 現状値から80%未満更新															H30実績 社教だより・図書だより・体育館だより 36回 社教関係 35回、体育関係 26回			
	現状値	97回	目標値	100回	設定理由	より充実した情報を更新																					
	指標2	告知端末周知回数			測定方法	告知端末周知回数	評価基準	A 500回以上 B 480~499回 C 460~479回 D 459回以下	現状値から4%増 現状数値 目標値から8%減 目標値から8%以上減															H30実績 社教関係 370回 社体関係 112回			
	現状値	482回	目標値	500回	設定理由	現状維持、社会教育・体育団体分加味																					
	指標3	生涯学習機会に恵まれた町と思う人の割合			測定方法	総合計画アンケート結果	評価基準	A 45%以上 B 43~44.9% C 40~42.9% D 39.9%以下	前回のアンケートから5%以上の増 前回のアンケートから5%未満の増 前回のアンケートから5%未満の減 前回のアンケートから5%以上の減																H25アンケート結果：42.9% R1アンケート結果：42.5% △0.4%		
	現状値	42.5%	目標値	45%	設定理由	より充実した内容により実施																					
	指標4	道立図書支援事業活用			測定方法	利用実績数	評価基準	1 32人以上 2 27~31人 3 22~26人 4 21人以下	現状値より20%以上増 現状数値 現状値より20%未満減 現状値より20%以上減															H30実績 道立図書館インターネット予約貸出サービス 27人利用/80冊の貸出			
現状値	27人	目標値	32人	設定理由	現状20%増を加味																						

※ 指標の数値については、3年後（令和4年度）に見直すものとする。（事業の拡大や縮小及び人口等により変動するため）

→ 第6次中期計画目標未達成項目

→ 第6次中期計画から継続（指標の変更有）

→ 第7次中期計画策定に伴い新たに指標を設定

政策2	地域の営みに参画できる仕組みづくり				評価数値	設定理由等	R 2			R 3			R 4			R 5			R 6			R 7			備 考	
							数値	判定	総合	数値	判定	総合	数値	判定	総合	数値	判定	総合	数値	判定	総合	数値	判定	総合		
施策2-1 文化・スポーツ活動を充実する	指標1	芸術鑑賞事業参加人数		測定方法	事業実施集計	評価基準	A 440人以上 B 370~439人 C 301~369人 D 300人以下	過去4年間の平均数 目標値から15%減 目標値から15~30%未満減 目標値から30%以上減																H30実績 舞台芸術鑑賞：200人(2部公演)/2~100人 生涯学習講座：31人(幌延・問寒別) 心象館音楽の夕べ：75人 親子ふれあい人形劇：158人		
	現状値	364人	目標値	440人	設定理由	過去4年間の平均数																				
	指標2	町民文化祭来場人数		測定方法	事業実施集計	評価基準	A 500人以上 B 451~499人 C 400~450人 D 399人以下	現状値から25%増 現状値から15%程度増 現状数値 現状数値未満																H30実績 幌延 323人 問寒別 248人 H26~H29実績 幌延 805人(200人)、問寒別 643人(160人)		
	現状値	400人	目標値	500人	設定理由	来場25%増																				
	指標3	スポーツ教室実施日数		測定方法	実施集計	評価基準	A 28日以上 B 26~27日 C 24~25日 D 23日以下	現状より増加した数値 2日中止した数値(天災) 4日中止した数値 5日以上中止した数値																	H30実績 水泳教室(低) 6日、一般 5日 水中・ソフエアロビ 2日、軽体操 2日 スキー(低) 4日、1・2年 3日 子ども運動教室 6日(5事業連携)	
	現状値	25日	目標値	28日	設定理由	現状維持																				
	指標4	文化協会・体育協会加盟団体数		測定方法	加盟団体数集計	評価基準	A 28団体以上 B 26~27団体 C 24~25団体 D 23団体以下	新規加入団体加味 現状数値 現状値より2団体減 現状値より3団体以上減																	H30実績 文化協会：16団体 体育協会：11団体	
現状値	27団体	目標値	27団体	設定理由	現状維持																					
施策2-2 家庭・地域の子育てを支援する	指標1	放課後子ども教室登録人数		測定方法	全校児童の36%登録	評価基準	A 36%以上 B 34~35.9% C 32~33.9% D 31.9%以下	過去5年間最高登録率以上 現状値より2%未満増 現状数値 現状値より2%以上減																H27実績：43人登録(122人) H28実績：35人登録(125人) H29実績：30人登録(127人) H30実績：24人登録(126人) H31実績：39人登録(117人)		
	現状値	33.3%	目標値	36%	設定理由	過去5年間最高登録率																				
	指標2	北海道家庭教育サポート企業制度登録企業数		測定方法	登録実績集計	評価基準	A 7社以上 B 6社 C 5社 D 4社以下	新規登録を加味 現状数値 登録企業1社減 登録企業2社減																H30実績 登録：6企業 伊藤商店、道北物流、幌延郵便局、 天塩ハイヤー幌延支店、問寒別郵便送、 問寒別郵便局		
	現状値	6社	目標値	7社	設定理由	新規登録を加味																				
	指標3	家庭教育学級開設回数		測定方法	事業実績数	評価基準	A 12回以上 B 10~11回 C 9回 D 8回以下	各学級4回以上実施 現状数値 各学級3回実施 各学級3回の実施に満たない																	H30実績 幌延小学校 4回 幌延中学校 3回 問寒別小中学校 3回	
	現状値	10回	目標値	12回	設定理由	1学級4回以上																				
	指標4	読み聞かせ実施回数		測定方法	実績回数	評価基準	A 6回以上 B 5回 C 4回 D 3回以下	現状より増加した数値 子ども読書活動推進計画値 現状値より1回減となった数値 現状値より2回以上減となった数値																	H30実績 4回の実施	
現状値	4回	目標値	6回	設定理由	子ども読書活動推進計画値																					
施策2-3 住民進ずる社会参画活動を	指標1	人材バンク登録数(団体・個人)		測定方法	登録実績集計	評価基準	A 28登録以上 B 25~27登録 C 21~24登録 D 20登録以下	現状値より4人(団体)以上増の数値 現状値より1~3人(団体)増の数値 現状数値 現状値より4人(団体)以上減																H30実績 24人(団体)登録		
	現状値	24登録	目標値	28登録	設定理由	第6次中期未達成																				
	指標2	人材バンク活用事業数		測定方法	登録実績集計	評価基準	A 10件以上 B 9件 C 8件 D 7件以下	現状数値 現状値より1件の減 現状値より2件の減 現状値より3件以上減																H30実績 チャレンジ教室 8件 動植物写真展 1件 家庭教育学級 1件		
	現状値	10件	目標値	10件	設定理由	現状維持																				
	指標3	社会教育・社会体育事業への参画件数		測定方法	事業実施集計	評価基準	A 6件以上 B 5件 C 3~4件 D 2件以下	現状数値 現状値より1件の減 現状値より2~3件の減 現状値より4件以上の減																	H30実績 チャレンジ教室、料理教室、 町民スキー大会、町民フットサル大会、 問寒別町内会ソフトボール大会、 問寒別町内会ミニバレーボール大会	
	現状値	6件	目標値	6件	設定理由	現状維持																				

※ 指標の数値については、3年後(令和4年度)に見直すものとする。(事業の拡大や縮小及び人口等により変動するため)

政策3	子どもたちの自活力を促す環境づくり				評価数値		設定理由等		R 2			R 3			R 4			R 5			R 6			R 7			備 考
									数値	判定	総合	数値	判定	総合	数値	判定	総合	数値	判定	総合	数値	判定	総合	数値	判定	総合	
施策3-1 体験・交流活動を推進する	指標1	ふるさと自然体験チャレンジ教室参加平均人数		測定方法	参加人数/教室数	評価基準	A 37.5人以上 B 33.5~37.4人 C 30~33.4人 D 29.9人以下	過去5年間最大数値 現状値から5%増 現状数値 現状値から5%以上減																		H26実績：135人（5事業/平均22.5人） H27実績：224人（7事業/平均32.0人） H28実績：238人（8事業/平均29.8人） H29実績：338人（9事業/平均37.5人） H30実績：295人（9事業/平均32.7人）  H28実績：45人登録（117人） H29実績：67人登録（118人） H30実績：64人登録（118人） H31実績：67人登録（108人） ※ 夏季・冬季  H30実績 子ども会育成連絡協議会 7件 フラベンチャー同寒クラブ 4件	
		現状値	32.8人	目標値	37.5人	設定理由	過去5年間最大数値																				
	指標2	子ども朝活事業登録率		測定方法	全校児童の62%登録	評価基準	A 62%以上 B 56~61.9% C 50~55.9% D 49.9%以下	現状数値 現状値から6%減 現状値から6~12%減 現状値から12%以上減																			
		現状値	62%	目標値	62%	設定理由	現状維持																				
	指標3	青少年活動団体活動実施件数（子ども会・フラベンチャー）		測定方法	実績確認	支援内容	1 場の提供 2 講師紹介 3 運営補助 4 町バス貸出	現状を把握するのみ																			
		現状値	11件	目標値	- - -	設定理由	現状把握と支援																				
施策3-2 学校との連携を促進する	指標1	小中学校と連携・協力した事業実施件数		測定方法	実績確認	支援内容	1 共催事業 2 運営協力	現状を把握するのみ																	H30実績 水泳教室（低）、スキー教室（低）（1・2） 朝活事業（夏・冬）、子ども教室（梶・間） 水泳大会、マラソン大会、スキー大会 英会話教室（H31）  H30実績：101点（小中87点）180人 48.3% H31実績：101点（小中89点）175人 50.1%  H29実績：80人（会員193人） H30実績：58人（会員185人） ※ H31中止		
		現状値	10件	目標値	- - -	設定理由	現状把握と支援																				
	指標2	町内書初め展示作品数		測定方法	実績確認	評価基準	A 60%以上 B 55~59.9% C 50~54.9% D 49.9%以下	小5~中学生全員応募時の数値 現状値から5%増 現状数値 現状以下の数値																			
		現状値	50.1%	目標値	60%	設定理由	小学5年生~中学生全員応募時																				
	指標3	町PTA研究大会参加率		測定方法	実績確認	評価基準	A 40%以上 B 35~39.9% C 30~34.9% D 29.9%以下	会員参加20人以上増 会員参加10人以上増 現状数値 現状以下の数値																			
		現状値	31.4%	目標値	40%	設定理由	会員数の40%出席																				
施策3-3 ボランティア活動を推進する	指標1	放課後子ども教室スタッフ人数		測定方法	スタッフ登録数	評価基準	A 20人以上 B 17~19人 C 14~16人 D 13人以下	幌延のスタッフ増を加味 現状維持 現状値から1~3人の減 現状値から4人以上の減																	H30実績 幌延 5人 間寒別 12人  H30実績 幌中 2件 ※ 各学校に調査  H30実績 幌小4件、幌中3件、間小中2件、子ども会1件 ※ 各学校等に調査		
		現状値	17人	目標値	20人	設定理由	幌延地区増を加味																				
	指標2	ボランティアを学習する授業実施件数		測定方法	各学校活動実績確認	支援内容	1 場の提供 2 講師紹介 3 運営補助 4 町バス貸出	現状を把握するのみ																			
		現状値	2件	目標値	- - -	設定理由	現状把握と支援																				
	指標3	小中学生のボランティア活動件数		測定方法	各学校活動実績確認	支援内容	1 場の提供 2 講師紹介 3 運営補助 4 町バス貸出	現状を把握するのみ																			
		現状値	10件	目標値	- - -	設定理由	現状把握と支援																				
施策3-4 機会を拡大提供する者の研修	指標1	社会教育関係委員研修会等参加率		測定方法	研修会参加率	評価基準	A 100% B 85~99.9% C 64~84.9% D 63.9%以下	全参加 2人不参加 3~5人不参加 6人以上不参加																	H30実績 社教委：理事会 4人(2人)、管内 2人(0人)、全道 2人(1人)、委員長 1人(1人) スポ推：総会 1人(1人)、管内 2人(2人)、全道 2人(2人)  H30実績 少年の主張：出席 ジュニアリーダー：欠席  H30実績：活動員不参加 H31実績：活動員2人出席		
		現状値	64.3%	目標値	100%	設定理由	予算計上100%出席																				
	指標2	少年の主張、ジュニアリーダー研修会出席件数		測定方法	研修会出席実績数	評価基準	A 2件 B 1件 C --- D 0件	2事業出席 1事業のみ出席 事業不参加																			
		現状値	2件	目標値	2件	設定理由	現状維持																				
	指標3	放課後子ども教室スタッフ研修会参加状況		測定方法	研修会出席実績数	支援内容	A 研修会参加 B C D	現状を把握するのみ																			
		現状値	2人	目標値	- - -	設定理由	現状把握																				

※ 指標の数値については、3年後（令和4年度）に見直すものとする。（事業の拡大や縮小及び人口等により変動するため）

政策4	次代に向けて挑戦し続ける風土づくり				評価数値		設定理由等		R2		R3		R4		R5		R6		R7		備考	
									数値	判定	総合	数値	判定	総合	数値	判定	総合	数値	判定	総合		数値
施策4-1 協推 働進 に す る 生 涯 学 習 を	指標1	文化団体、体育団体との共催による事業件数		測定方法	事業実施実績	評価基準	A 6件以上 B 5件 C 4件 D 3件以下	事業増を想定した数値 現状数値 現状値より1件減 現状値より2件以上減													H30実績 文化協会 2件 体育協会 1件 子ども会 2件	
	現状値	5件	目標値	6件	設定理由	事業増を想定																
	指標2	女性学級活動回数		測定方法	実績件数	支援内容	1 事業実施 2 講師紹介 3 運営補助 4 町バス貸出	現状を把握するのみ														H30実績 下沼学級 4回
	現状値	4回	目標値	- - -	設定理由	現状把握と支援																
	指標3	社会教育関係委員女性登用率		測定方法	委員数	評価基準	A 42%以上 B 35～41.9% C 28～34.9% D 27.9%以下	女性2人以上増 現状数値 女性委員2人減 女性委員3人以上減														H28・29実績 社教委 (8/2)、スポ推 (8/2) 放課後運営委員 (13/6) H30実績 社教委 (8/2)、スポ推 (8/2) 放課後運営委員 (12/6)
現状値	35.7%	目標値	42%	設定理由	現状委員から増を加味																	
施策4-2 青 少 年 活 動 を 推 進 す る	指標1	子ども運動教室登録人数		測定方法	実績数確認	評価基準	A 30%以上 B 25～29.9% C 20～24.9% D 19.9%以下	全校児童数30%以上加入 目標値より5%未満減 目標値より10%未満減 現状数値													H29実績：40人(118人) H30実績：22人(118人) ※ H29からの事業	
	現状値	18.6%	目標値	30%	設定理由	全校児童30%以上の加入率																
	指標2	スポーツ少年団全国・全道大会出場件数		測定方法	実績確認	支援内容	1 場の提供 2 講師紹介 3 運営補助 4 町バス貸出	現状を把握するのみ														H30実績 全道大会：野球 1件、バレー 2件、剣道 1件 全国大会：野球(代表) 1件
	現状値	5件	目標値	- - -	設定理由	現状把握と支援																
	指標3	スポ少年団団員数		測定方法	実績数確認	評価基準	A 50%以上 B 40～49.9% C 30～39.9% D 29.9%以下	全校児童数50%以上加入 目標値より10%未満減 現状数値 現在値より17%以上減														H30実績 剣道スポーツ少年団 14人 野球スポーツ少年団 11人 バレースポーツ少年団 19人
現状値	37.3%	目標値	50%	設定理由	全校児童50%以上の加入率																	
施策4-3 コ 活 性 化 す る 一 一 活 動 を	指標1	学校開放事業利用回数		測定方法	利用実績数	評価基準	A 290回以上 B 263～289回 C 251～262回 D 250回未満	現状数値 現状値から10%減の数値 現状値から15%減の数値 現状値から15%以上減の数値													H30実績(屋体、教室、グラウンド) 幌延小学校 197回 2,738人 幌延中学校 44回 508人 間寒別小中学校 47回 462人	
	現状値	288回	目標値	290回	設定理由	現状維持																
	指標2	舞台芸術鑑賞事業参加人数		測定方法	事業実績数	評価基準	A 170人以上 B 150～169人 C 130～149人 D 129人以下	座席数以上数の観覧 目標から20人減 目標から40人減 目標から40人以上減													H26実績：三浦一馬×大萩康司スパー・テオ 114人 H27実績：木原健太郎withハリー・ジョー・オケストラ 130人 H28実績：キョウカランド 183人 H29実績：東京グラスティイ#2017 233人 H30実績：東京グラスティイ#2018 (2部構成) 200人	
	現状値	100人	目標値	170人	設定理由	施設座席数																
	指標3	町内会スポーツ事業参加人数		測定方法	実績数確認	評価基準	A 420人以上 B 390～419人 C 370～385人 D 369人以下	過去5年間の平均数 目標値から5%減 目標値から10%減 目標値から10%以上減														H30実績(5事業) 町内会バレー 83人、町内会バレーボール 84人、 ミニバレーフェスティバル 116人、 間寒別ワトボール 41人、間寒別ミニバレー 36人
現状値	360人	目標値	420人	設定理由	過去5年間の平均																	
施策4-4 ス ポ ー ツ と 健 康 づ く り	指標1	社会体育事業参加人数		測定方法	登録実績集計	評価基準	A 1,800人以上 B 1,500～1,799人 C 1,200～1,499人 D 1,199人以下	現状値から15%増 現状数値 現状値から30%未満減 現状値から30%以上減													H26実績：17件 1,807人 H27実績：18件 1,823人 H28実績：19件 1,708人 H29実績：27件 1,923人 H30実績：26件 1,569人	
	現状値	1,569人	目標値	1,800人	設定理由	第6次中期未達成																
	指標2	移行事業数		測定方法	事業実績数	評価基準	A 7事業 B 6事業 C 5事業 D 4事業以下	現状数値 現状値から1事業減 現状値から2事業減 現状値から3事業以上減													H30実績 町民パークゴルフ、町内会ミニバレー、 町内会バレーボール、間寒別ミニバレー、 低学年スキー教室、ミニバレーフェスティバル、 歩くスキーの集い	
	現状値	7事業	目標値	7事業	設定理由	現状維持																
	指標3	東ヶ丘スキー場リフト乗車数		測定方法	リフト乗車実績数/人口	評価基準	A 10回以上 B 9～9.9回 C 8～8.9回 D 7.9回以下	過去5年間の平均数以上 現状値より2.3～3.2回増 現状値より1.3～2.2回増 現状数値														H26実績：25,283人/10.1回 H27実績：26,196人/10.7回 H28実績：21,125人/ 8.8回 H29実績：22,558人/ 9.3回 (天塩分差引) H30実績：15,768人/ 6.7回
現状値	15,768人 6.7回	目標値	23,000人 10回	設定理由	過去5年間の平均+10%																	

※ 指標の数値については、3年後(令和4年度)に見直すものとする。(事業の拡大や縮小及び人口等により変動するため)

政策5	学習活動の拠点づくり				評価数値	設定理由等	R 2			R 3			R 4			R 5			R 6			R 7			備 考
							数値	判定	総合	数値	判定	総合	数値	判定	総合	数値	判定	総合	数値	判定	総合	数値	判定	総合	
施策5-1 社会教育・社会体育施設を整備する	指標1	生涯学習センター利用人数		測定方法	利用実績数／人口	評価基準 A 1人／7.5回以上 B 7.0～7.4回 C 6.5～6.9回 D 6.4回以下	現状値から0.6回増 現状値から0.1～0.6未満増 現状数値 現状値から0.5回以上減																	H26実績：10,604人→1人当たり/4.2回 H27実績：9,494人→1人当たり/3.9回 H28実績：14,875人→1人当たり/6.2回 H29実績：14,118人→1人当たり/5.9回 H30実績：16,266人→1人当たり/6.9回	
	現状値	16,266人 6.9回	目標値	17,250人 7.5回	設定理由	利用増加を加味																			
	指標2	美術館・博物館施設利用人数		測定方法	利用実績数	評価基準 A 1,000人以上 B 900～999人 C 800～899人 D 700～799人	現状値から30人以上増 現状値と同数 現状値から150人減 現状値から150人以上減																	H26実績：心象館 1,911人、資料館 84人 H27実績：心象館 1,162人、資料館 98人 H28実績：心象館 817人、資料館 168人 H29実績：心象館 694人、資料館 129人 H30実績：心象館 767人、資料館 200人	
	現状値	967人	目標値	1,000人	設定理由	現状利用者維持																			
	指標3	社会体育施設利用人数		測定方法	利用実績数／人口	評価基準 A 1人／11回以上 B 10.0～10.9回 C 9.5～9.9回 D 9.4回以下	前回の目標値 現状数値 現状値より0.1～0.5回減 現状値より0.5回以上減																		H26実績：26,624人→1人当たり/10.2回 H27実績：14,419人→1人当たり/5.9回 H28実績：24,442人→1人当たり/10.2回 H29実績：23,425人→1人当たり/9.8回 H30実績：23,002人→1人当たり/9.8回
	現状値	23,002人 9.8回	目標値	25,300人 11.0回	設定理由	第6次中期未達成																			
	指標4	図書館利用人数		測定方法	利用実績数／人口	評価基準 A 1人／4.5回以上 B 3.5～4.4回 C 2.6～3.4回 D 2.6回以下	前回の目標値 現状値より0.9～1.8回増 現状数値 現状値より減																		H26実績：8,140人→1人当たり/3.3回 H27実績：6,939人→1人当たり/2.8回 H28実績：6,979人→1人当たり/2.9回 H29実績：6,323人→1人当たり/2.6回 H30実績：6,179人→1人当たり/2.6回
	現状値	6,179人 2.6回	目標値	10,350人 4.5回	設定理由	第6次中期未達成																			
	施策5-2 社会進教する・社会体育施設の利用を	指標1	図書館貸出冊数		測定方法	貸出冊数実施集計	評価基準 A 1人／4冊以上 B 3.8～3.9冊 C 3.6～3.7冊以上 D 3.5冊以下	現状値から0.2冊以上増 現状数値 現状値から0.2冊減 現状値から0.2冊以上減																	H30実績：8,813人／3.8冊→人口2,350人算出 H26～R1迄年間約50人の人口減少 ※ 読書推進計画との整合性が図られてない
		現状値	8,813冊 3.8冊	目標値	9,200冊 4冊	設定理由	人口1人／4冊以上の貸出																		
		指標2	スポーツ・レジャー施設が整備された町と思う割合		測定方法	総合計画アンケート結果	評価基準 A 52%以上 B 46～51.9% C 41～45.9% D 41.9%以下	前回のアンケートから5%以上の増 前回のアンケートから5%未満の増 前回のアンケートから5%未満の減 前回のアンケートから5%以上の減																	H25アンケート結果：48.5% R1アンケート結果：46.9% △1.6%
		現状値	46.9%	目標値	52%	設定理由	町民が安心安全な施設とし利用																		
指標3		読書企画展平均来室人数		測定方法	事業実施集計	評価基準 A 1日／20人以上 B 18～19.9人 C 16～17.9人 D 15.9人以下	現状値より10%以上増 現状数値 現状値より10%未満減 現状値より10%以上減																		H30実績：4回 97日 1,631人 ～ 16.8人/回 H29実績：4回 113日 1,915人 ～ 16.9人/回 H28実績：4回 112日 2,229人 ～ 19.9人/回 H27実績：2回 51日 955人 ～ 18.7人/回 H26実績：4回 73日 1,323人 ～ 18.1人/回
現状値		1日／18.1人	目標値	1日／20人	設定理由	来室者実数																			
指標4		図書館蔵書数		測定方法	実施集計	評価基準 1 29,600冊以上 2 28,800～29,599 3 28,000～29,799 4 27,999冊以下	現状を把握するのみ																		子ども読書活動推進計画書計画値
現状値		26,780冊	目標値	29,600冊	設定理由	子ども読書活動推進計画値																			

※ 指標の数値については、3年後（令和4年度）に見直すものとする。（事業の拡大や縮小及び人口等により変動するため）

# 答 申

令和2年 3月27日

幌延町教育委員会教育長 木 澤 瑞 浩 様

幌延町第7次社会教育中期計画策定委員会  
委員長 竹 岡 政 仁

幌延町第7次社会教育中期計画について

令和元年7月25日付にて諮問がありました「幌延町第7次社会教育中期計画」策定について、策定委員11名（社会教育委員8名、スポーツ推進委員3名）により、今日まで、前計画の反省や評価を踏まえ、4回の会議を実施し、精力的にかつ慎重に審議・議論を重ねてまいりました。

本計画策定にあたっては、幌延町教育大綱、幌延町教育目標を基軸にした「幌延町社会教育の基本方針」と第6次幌延町総合計画との整合性を図りながら、本町の目指す施策と方向性を策定し、「共に学び・共に育み・共に創る 郷土に根ざすひとづくり」をスローガンとして、「幌延町第7次社会教育中期計画」を別添のとおり答申いたします。

本答申が教育委員会をはじめ、町及び関係機関・団体、町民各位においても十分に活かされ、今後の行政施策、事業展開に反映されますことを期待いたします。



# 諮 問 文

令和元年 7月25日

幌延町第7次社会教育中期計画策定委員会

委員長 竹岡政仁様

幌延町教育委員会教育長 木澤瑞浩

幌延町第7次社会教育中期計画の策定について

このことについて、下記のとおり理由を付して諮問いたしますので、御答申くださいますようお願いいたします。

## 記

幌延町は「幌延町教育目標」を基本とし、社会教育目標を掲げ、幌延町社会教育中期計画を策定しております。本計画は、社会教育行政に関する総合的な計画であります。現在、幌延町第6次社会教育中期計画（平成26年度から令和元年度）に基づき、「学び愛・繋がり愛・創り愛 豊かに生きる人づくり」をスローガンとして、5つの基本政策をたて、町民一人一人がいつでも、どこでも、だれもが学習活動に参加できる人づくり、町づくりの実現をめざし、町民の自主的な学習活動の推進と支援を進めてまいりましたが、本計画については、本年度で最終年度を迎えることとなります。

今日の少子高齢化等が進む中、経済発展、科学技術の高度化、情報化等人々のライフスタイルの変化や価値観の多様化が見られております。人々の生活水準は向上し、自由時間も増大しており、物質的な面での豊かさに加え、精神的な面での豊かさを求め、生涯を通じて健康で生きがいのある人生を過ごすことなどが求められております。

このような、町民のニーズや地域課題に対応した学習機会や学習情報の提供、学習した成果を活用するとともに、今日までの幌延町における社会教育の実績を踏まえ、今後策定が重要となります。

このことから、幌延町第6次社会教育中期計画の反省、評価を踏まえ次年度以降の社会教育推進の基本となる幌延町第7次社会教育中期計画（令和2年度から令和7年度）の策定を諮問いたします。

（検討の視点）

- 1 幌延町における社会教育の現状と課題をさぐる
- 2 生涯学習の観点に立った社会教育のあり方
- 3 今後の幌延町における社会教育の振興方策

## 幌延町第7次社会教育中期計画策定委員会策定結果

区 分	期 日	内 容
第1回 社会教育中期計画策定委員会議	7月25日	1 委嘱状交付（委員） 2 幌延町第7次社会教育中期計画策定委員会設置要綱について 3 委員長、副委員長選出について 4 幌延町第7次社会教育中期計画策定について諮問 5 策定までの概要説明 6 講義「社会教育中期計画策定の目的について」 7 実技グループワーク「6年後の幌延町について」 講師：宗谷教育局教育支援課 社会教育指導班主査 佐々木 憲 一 氏
中期計画策定 委員事業視察	8月 2日 10月31日	1 社会教育事業16事業、社会体育事業8事業の視察（3ヶ月間）
第2回 社会教育中期計画策定委員会議	12月16日	1 第1回会議結果の確認 2 現行計画の評価、現状把握について ① H26年度～H30年度迄の評価 ② 各事業の整理（H26～H30） 3 事業視察の意見交換 4 現行の成果と課題について 5 第7次社会教育中期計画のイメージについて
第3回 社会教育中期計画策定委員会議	2月13日	1 第2回会議結果の確認 2 事業視察結果 3 総合計画アンケート結果について 4 第7次社会教育中期計画体系図（案）について 5 第7次社会教育中期計画のめざす基本施策の評価指標（案）について 6 第7次社会教育中期計画目標（スローガン）の設定について
第4回 社会教育中期計画策定委員会議	3月24日	1 第3回会議結果の確認 2 第7次社会教育中期計画目標（スローガン）の確定について 3 第7次社会教育中期計画原案協議・校正
教育委員会議	3月27日	1 幌延町第7次社会教育中期計画 答申

## 幌延町第7次社会教育中期計画策定委員会設置要綱

(名称)

第1条 この会は、幌延町第7次社会教育中期計画策定委員会（以下委員会）という。

(目的)

第2条 この委員会は、幌延町社会教育目標を基軸に「今日の社会の激しい変化に対応するために、生涯教育の観点に立って、豊かな社会性の育成と創造性の啓発をめざして、地域に根ざした社会教育を推進する」ために、町民の学習要求に対応できる幌延町第7次社会教育中期計画を策定することを目的とする。

(構成)

第3条 この委員会は、次の社会教育関係委員をもって構成し、定数は次のとおりとする。

- (1) 社会教育委員 8名
- (2) スポーツ推進委員 3名

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から当該諮問にかかる審議終了の日までとする。ただし、補充された委員は前任者の残任期間とする。

(所掌事項)

第5条 この委員会は、第2条の目的を達成するために次のことを行う。

- (1) 社会教育中期計画策定の調査研究に関すること。
- (2) 社会教育中期計画策定のため住民の意向を聴取すること。
- (3) 社会教育中期計画策定について教育委員会からの諮問事項に答申を行うこと。
- (4) その他社会教育中期計画策定に必要な事項。

(委員長及び副委員長)

第6条 委員会は、委員の中から委員長1名、副委員長1名を互選する。

- 2 委員長は、会務を統括し、委員会を代表する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

(会議)

第7条 委員会の会議は委員長が招集する。

- 2 会議の議長は委員長がこれにあたる。

(部会の設置)

第8条 この委員会に必要に応じて、部会を置くことができる。

(事務局)

第9条 この委員会の事務局は教育委員会社会教育グループに置き、構成は教育次長、社会教育グループ職員、問寒別生涯学習センター所長及び幌延町生涯学習アドバイザーを以って充てる。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、必要事項は別に定めることができる。

附 則

- 1 この要綱は、公布の日から施行する。
- 2 最初に行われる委員会の会議は、第7条第1項の規定にかかわらず、教育委員会が招集する。
- 3 この要綱は、令和2年3月31日限り効力を失う。

## 幌延町第7次社会教育中期計画策定委員名簿

No.	氏 名	所 属	備 考
1	竹 岡 政 仁	社会教育委員	委員長、スポーツ推進委員
2	吉 崎 健 一	社会教育委員	副委員長
3	角 山 隆	社会教育委員	スポーツ推進委員
4	田 中 耕 平	社会教育委員	
5	小 野 篤 夫	社会教育委員	
6	岸 望	社会教育委員	
7	佐 藤 友 子	社会教育委員	
8	遠 藤 直 美	社会教育委員	
9	佐 藤 寿 史	スポーツ推進委員	
10	長 山 拓 矢	スポーツ推進委員	
11	後 藤 裕 理 子	スポーツ推進委員	

### 【事務局】

No.	氏 名	所 属	備 考
1	伊 藤 一 男	教育次長	
2	戸 川 誠 二	社会教育G主幹	
3	三田地 和 美	問寒別生涯学習センター所長	社会教育主事
4	寺 澤 篤 史	社会教育G主任	幌延町生涯学習センター
5	無量谷 智 郁	社会教育G主任	総合体育館
6	岩 田 悠 作	社会教育G主事	
7	椿 駿	社会教育G主事	総務学校G兼務
8	富士元 寿 彦	生涯学習アドバイザー	

# 幌延町教育大綱

## 目 標

### 「心豊かな人と文化を育むまちづくり」

第5次幌延町総合計画の幌延町の将来像である

#### 「町民一人ひとりが主役！夢と活力に満ち 自然と共生する安心で住みよい町」

を目指して、教育分野においては、人づくはまちづくりの基本であるとの認識に立ち、幌延町の豊かな自然や風土等の特徴を生かし、学校・家庭・地域社会が十分に連携し、子どもたちの教育活動の充実をはじめ、幼児から高齢者までのそれぞれの年代に応じた、学習機会を創出し、心豊かな人と文化を育むまちづくりを進めます。

## 基 本 施 策

### 1 学校教育の充実

- 児童・生徒が個性能力を生かし、自立した人間として生きていくための確かな学力をはぐくみます。
- 豊かな人間性、健やかな心と体をはぐくみます。
- 地域に開かれた信頼される学校づくりに取り組みます。
- 学校施設の計画的な整備に取り組みます。

### 2 生涯学習の推進

- 生涯学習センターを拠点として、町民の学習ニーズの多様化・高度化に対応した各種事業を実施し、学習機会の充実に努めます。
- 行政や教育機関などとの連携や役割分担により、体験交流活動や社会活動への参加を促進します。

### 3 スポーツの振興

- 1町民1スポーツを推進します。
- 町民が自ら進んで、いつでも、どこでも、気軽に楽しめるスポーツ・レクリエーションや健康づくりの機会創出に努めます。
- スポーツ指導者の養成や関係団体への支援、スポーツ施設の整備に取り組みます。

### 4 芸術・文化の振興

- 地域に根ざした自主的な文化活動に対する支援を図り、町民主体的な運営による文化活動を促進します。
- 先人たちにより築き、受け継がれてきた歴史的に貴重な文化遺産の保存・調査を進めます。
- 郷土資料の収集や郷土芸能の後継者育成と伝承に努めます。

## 幌延町民憲章

わたくしたちは、悠久の大地天塩川と広大な平野、豊かな森林に恵まれ、北の大自然と共に生きる幌延町民です。

北緯45度の厳しい風雪に耐えて、郷土の礎を築いた先人たちの労苦に感謝するとともに、その意思を受け継ぎ、この町に生きることに誇りと喜びをもって、未来につなぐまちをつくるために、この町民憲章を定めます。

- 1 共に支え合い、未来に夢をもち、  
住みよい協働のまちをつくります
- 1 働くことに誇りをもち、地域資源を生かした、  
活力あるまちをつくります
- 1 生命（いのち）を尊び、人を愛し、  
笑顔あふれるまちをつくります
- 1 心身を鍛え、文化の香り高い、  
いきがいと希望に満ちたまちをつくります
- 1 自然の恵みに感謝し、美しい自然環境を守り  
人にやさしいまちをつくります

(平成22年12月20日)

# 幌延町教育目標

## 生命を尊び 健康でたくましく生きる人

- 1 北方生活 風土に即した体育・スポーツにはげみ、その生活文化の創造に努める。
- 2 保健・安全に対する知識を高め 心身共に健康な生活をおくるように努める。
- 3 辛抱強く最後までやり抜き たくましい心身を育てるように努める。

## 広い視野に立ち 心豊かで思いやりのある人

- 1 自然を愛し 美しいものや崇高なものに感謝する心を持ち 豊かな生活を営むように努める。
- 2 思いやりの心を持ち 進んで奉仕活動に参加するよう努める。
- 3 互いに信頼しあい きまりや約束を守って社会生活向上に努める。

## 高い理想をもち 生きがいを求め学び続ける人

- 1 希望や目標をもち 常に実現に努める。
- 2 豊かな趣味をもち 余暇の善用に努める。
- 3 互いの個性を尊重し 創造的な知性や能力を高めるよう努める。

## 勤労意欲をもち 家庭や地域を築く人

- 1 働く喜びを知り 責任を果たすように努める。
- 2 自分の職業に誇りをもち 家庭生活の向上に努める。
- 3 幸せな社会の実現をめざし 郷土の産業発展に努める。

## 郷土を愛し 平和な国際社会につくす人

- 1 北国のきびしさを克服し 積極的に自然の活用に努める。
- 2 郷土の歴史や文化を大切にし 豊かな生活の創造に努める。
- 3 国際感覚を身につけ 平和な国際社会に生きる視野をもつように努める。

(平成5年4月1日改定)

## 幌延町社会教育関係施設

施設名	住所	建設年度
幌延町生涯学習センター	宮園町1番地の3	平成23年度
問寒別生涯学習センター	字問寒別135番地の4	平成28年度
幌延町総合体育館	栄町5番地の1	昭和54年度
幌延町総合スポーツ公園 パークゴルフ場	字上幌延1-1 他	平成8年度
幌延町総合スポーツ公園 野球場	元町2-1 他	平成9年度
幌延町総合スポーツ公園 ゲートボール場	字上幌延1-1 他	平成9年度
幌延町総合スポーツ公園 球技場	元町2-1 他	平成9年度
幌延町民プール	栄町5番地の1	昭和62年度
問寒別町民プール	字問寒別130番地1	平成15年度
金田心象書道美術館	字幌延102番地の1	平成2年度
幌延町郷土資料館	字幌延102番地の1	昭和63年度
幌延町東ヶ丘スキー場	字幌延106番地の1 他	平成4年度
幌延町東ヶ丘スキー場 管理棟	字幌延106番地の1	令和元年度

※ 幌延町東ヶ丘スキー場管理棟については、旧共進会場管理棟から名称を改称し改修を行っている。



# 幌延町教育大綱

## 目標

心豊かな人と文化を育むまちづくり

## 基本施策

- 1 学校教育の充実
- 2 生涯学習の推進
- 3 スポーツの振興
- 4 芸術・文化の振興

## 幌延町教育目標

- 生命を尊び 健康でたくましく生きる人
- 広い視野に立ち 心豊かで思いやりのある人
- 高い理想をもち 生きがいを求め学び続ける人
- 勤労意欲をもち 家庭や地域を築く人
- 郷土を愛し 平和な国際社会につくす人

## 幌延町社会教育の基本方針

幌延町の教育目標を基軸に、今日の社会の激しい変化に対応するために生涯教育の観点に立って、豊かな社会性の育成と創造性の啓発をめざして地域に根差した社会教育を推進する。

## 幌延町社会教育目標

- 1 学習や社会参加への意欲を高め、自ら啓発に努める社会教育活動を
- 2 ふれあいを深め、豊かな心を育む文化活動を
- 3 健康で活力のある生活をめざすスポーツ活動を

### 【スローガン】

### 共に学び・共に育み・共に創る 郷土に根ざすひとづくり

#### 政策1 幌延を知るための学びの場づくり

- 1-1 多様な学習機会の拡充に努める
- 乳児から高齢期まで幅広い学習機会の提供
  - 関係機関等との連携、体制づくり
  - 町や周辺地域の人材の登録・整備・活用

- 1-2 多様な学習機会を提供する
- ホームページの充実
  - 広報活動の工夫と充実
  - 住民ニーズの把握
  - 各種関係機関等の情報の提供



#### 政策2 地域の営みに参画できる仕組みづくり

- 2-1 文化・スポーツ活動を充実する
- 芸術文化鑑賞機会の提供
  - 運動教室の充実
  - 文化・体育協会事業者への支援・育成

- 2-2 家庭・地域の子育てを支援する
- 地域活動に参画できる環境の整備
  - 子育て支援ボランティアの育成と活動支援
  - 青少年健全育成活動の推進

- 2-3 住民の社会参画活動を促進する
- 住民や各種団体等と連携した活動の促進
  - 人材バンクの活用
  - コミュニティー活動参加の促進

#### 政策3 子どもたちの自立を促す環境づくり

- 3-1 体験・交流活動を推進する
- 子ども会等の活動への支援
  - ワラベンチャー活動への支援
  - 自然体験や異世代交流の推進

- 3-2 学校との連携を促進する
- 小中学校との事業連携
  - 地域の教育資源を活用した学習機会の提供
  - 家庭教育や子育てに関する学習機会の提供

- 3-3 ボランティア活動を推進する
- 小中学校におけるボランティア活動の推進
  - ボランティアに関する学習機会の提供
  - ボランティア意識の向上

- 3-4 リーダー・指導者の研修機会を提供する
- リーダーや指導者の養成
  - 研修機会に関する学習機会の提供
  - 国や道、管内規模の研修会等への参加奨励

#### 政策4 次代に向けて挑戦し続ける風土づくり

- 4-1 協働による生涯学習を推進する
- 青年層の人材育成と活動支援
  - 家庭教育サポート企業制度の活用
  - 生涯学習のための研修機会の充実
  - 女性の学習や交流活動の推進

- 4-2 青少年活動を推進する
- 体力向上に向けた活動の推進
  - スポーツ少年団活動への支援

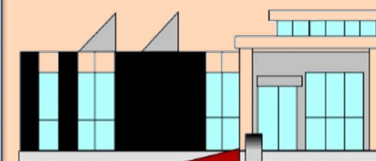
- 4-3 コミュニティー活動を活性化させる
- 社会教育・体育施設を利用した活動の推進
  - 学校施設の有効活用
  - 町内会や文化・体育団体との連携

- 4-4 スポーツと健康づくりを推進する
- 社会体育事業の推進
  - スポーツ指導者の発掘と育成
  - 保健センターとの連携

#### 政策5 学習活動の拠点づくり

- 5-1 社会教育、社会体育施設を整備する
- 住民ニーズの把握
  - 施設の設備や機能の充実
  - 安心・安全な活動場所の提供

- 5-2 社会教育、社会体育施設の利用を促進する
- 図書室機能や蔵書数の充実と読書活動の推進
  - 施設空間の有効活用
  - サークル団体活動への支援





水中から飛び上がったカワセミ



巣穴から顔を出したエゾモモンガ



追いかっこをするエゾシカとキタキツネ